

life style

このページでは障がい者の生活の1コマをご紹介します。

絵を描くことで広がる世界

NPO法人爽々苑（そうそうえん）の福祉作業所に通う大槻宗広さんは、絵画などアートの分野で非凡な才能を持っています。小さな時から時間を見つけては絵や文字を書いていることが多かったという大槻さんが、本格的に絵を描き始めたのは二十数年前。ある時、日本画家の先生に絵を教えて貰う機会を得てから、作品作りに没頭していったそうです。

大きなキャンバスへ、わずか20分で水彩画を描き上げ、1時間で大小3つの作品を仕上げてしまいます。専門家からは「豊かな色を生み出す色彩のマジシャン」と評されています。

これまでコンクールにも数多く出品。なかでも開催30回を数える東京都障害者総合美術展では、審査員特別賞など6度の受賞歴があります。

ちなみに作業所の仕事では洗濯物をたたむのが得意だそう。また、日頃から絵を描く感性を養うため、家族といっしょに美術館等を見て回るのが好きだといっています。